

## 10月のほけんだより



令和7年10月1日発行

)なかのしまのぞみ保育園 (

美味しい食べ物や運動会、読書、ハロウィンなど楽しみの多い季節となりました。10月も後半には寒い日が増えてきます。

9

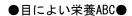
8

体調に気をつけながら思いきり秋を楽しみましょう。

9月の感染者報告はとびひ1名でした。



10月10日は目の日です。目によいとされている食べ物を紹介します。



ビタミンA→目の粘膜を強くする

(にんじん・ほうれんそう・かぼちゃなどの緑黄色野菜)

ビタミンB群→目の神経の働きを助ける

(B<sub>1</sub> 豚肉・サバ・玄米・レンコン B<sub>2</sub> レバー・納豆・卵・のり)

ビタミンC→目の健康を保つ

(柿・小松菜・ブロッコリー・じゃがいも・さつまいも・大根)













涙には、様々な役割があり、瞬き によって出てきます。

- ◎目の表面(角膜)の乾燥を防ぎ、 傷の治りを早める
- ◎細菌やアレルギー物質を洗い 流す
- ◎目の表面に酸素や栄養を運ぶ



## 薄着の習慣は

秋からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせた くなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。 冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作ってい くためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

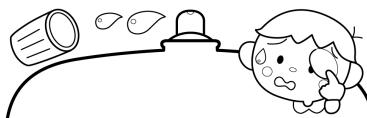
#### 薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の 上着で調節する
- ●肌着を着て保温 する
- おなかと背中が出 ないようにする



#### 大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。



## ものもらいに気をつけましょう

まぶたが赤くはれて、しこりができていたら、ものもらい(麦粒腫)かもしれません。

ものもらいは、まつげの根元に細菌が感染して起きるもので、抗生物質の点眼薬などで治療します。痛みがありますが、手でこすったり、触ったりしないように注意してください。



# 秋冬のスキンケア 3分祭

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

#### ① たっぷり保湿

保湿剤は、おふろ上がりに は必ず塗りましょう。肌に 湿り気があるうちに使うと、 角質層に水分を閉じ込めら れるので効果的。

#### ③ 刺激を少なくする`

直接肌にふれる衣類は綿素 材がお勧め。ポリエステル などの合成繊維は静電気を 起こしやすいため、皮膚を 刺激してかゆみのもとに。



#### ② 清潔を保つ

顔に汚れなどが付いて いたらきれいにふいて。 おふろではごしごしこす らず、せっけんを泡立て て優しく洗います。



#### 【9月の幼児対象の健康教育】

#### テーマ「事故予防について」でした。

手を扉に挟むとどうなるのか?頭を机の角にぶつけるとどうなるのか? ということを粘土の模型を使用して実験。実際に目で見て確認してもらいました。 子どもたちの反応は…痛そうやびっくり。

怪我をしないためには周りを見てから扉をゆっくり閉める。

お友だちや物にぶつからないようにするためにはお部屋や廊下では走らない。というお約束もしました。

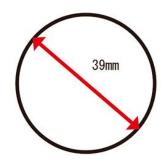
日頃から怪我や事故に気をつけて生活できるといいなと思います

※以下の資料はお家のでの事故予防になりますので参考にしてみて下さい

## 家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか? 0~6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



### 小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

#### リビングなど



ソファーやベビーベッドから落ちたり、たばこ を飲み込んだりといった事故がよくあります。

#### キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけ どが多い場所。

#### 浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離した すきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

#### ベランダ



台などに上って手すりを越える事故が、3歳以 降急増します。危険なものがないかチェックしま しょう。